



夏休みを終えて次なる学びへ

気温40度を越える日を「酷暑日」と名付けられた今年の夏、昨年同様に厳しい暑さが続いた夏休みでした。中学校の夏休みでは、部活動を柱として心身の成長に向けて取り組み、多くの運動部の3年生にとって、夏休みの大会は2年半に渡り励んできた集大成のものとなりました。

さて、夏休みを終えたこれからの学校生活は、各学年にとって大切な行事や活動が続きます。1年生は、生活の慣れからの油断や気の緩みに気を付けて学力・体力をつける時です。2年生は、多くの部活動でリーダーシップを発揮する立場となり、学校を支えていく経験を重ねる時です。3年生は、進路選択に向けての受験や学びを抱え込まず、自ら目指す道を切り拓いていく時です。

全国学力・学習状況調査

今年度4月に3年生を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要と今後の本校の取り組みについて報告いたします。

〈調査結果の概況〉

教科	黒瀬中	広島県
国語	58.0	64.0
数学	43.0	57.0
英語（平均IRTスコア）	463	499

IRTとは、国際的な学力調査（PISA など）や英語資格検定（TOIEC など）で採用されているテスト理論です。生徒の正答・誤答が問題の難易度によるのか生徒の学力によるのか区別して分析し、生徒の学力スコアを推定します。

今回の調査結果を分析いたしましたところ、大変残念ながら本校の各教科における平均正答率は、広島県の平均値を下回る結果となりました。学校としてこの結果をしっかりと受け止め、生徒一人ひとりの「わかる」「できる」の学びとなりますよう努めてまいります。

働くとは ～職場体験学習（2学年）～

先日、2学年の生徒たちが職場体験学習を行いました。この学習は、地域の事業所や施設などで働く方々と触れ合い、仕事をするものの意義や責任について考えるとともに、自分の将来の生き方や進路について考える機会とすることを目標としています。また、働くことの大変さだけでなく、周囲の人と協力することの大切さや、社会の一員として責任を果たすことの意味を学ぶことも大きなねらいの一つです。体験当日、生徒たちは普段の学校生活とは異なる環境の中で、緊張しながらも、それぞれの体験先で一生懸命活動しました。仕事の内容を教えていただいたり、実際の業務の一部を体験させていただいたりする中で、「仕事には一つ一つ意味があること」「相手の立場を考えて行動することが大切であること」「時間を守ることや挨拶、言葉遣いなど、基本的なことが社会ではとても重要であること」など、学校の授業だけでは得ることのできない多くの学びがありました。お忙しい中、生徒たちを温かく受け入れ、貴重な学びの場を提供してくださった地域の事業所及び施設の皆様に、心より感謝申し上げます。



前力紹介

中国中学校軟式野球選手権大会（広島市）

野球部 出場

中国中学校陸上競技選手権大会（鳥取市）

3年男子 1500m 市川 出場

広島県中学校軟式野球選手権大会

第2位

広島県中学校吹奏楽コンクール

中学生 A 部門 金賞（代表選考会出場）

YONEX CUP 中四国中学生ソフトテニス研修大会

女子団体 2 位 トーナメント 第3位

海田ファイナルメモリーズカップ

女子バスケットボール部 第5位

東広島市中学校総合体育大会

《軟式野球》 第1位

《ソフトテニス》

男子団体 第2位

個人 山口・安井組 第2位

女子団体 第2位

団体オープン 第2位

《卓球》 女子団体 第3位

《柔道》 男子個人 宮下 第3位

女子個人 寺内 第3位

東広島市中学校ソフトテニス審判研修大会

女子個人 城・久保田組 第2位



今後の予定

9 月

19	土	市ロードレース大会
26	土	黒瀬ふれあい祭巡視（ボランティア）
30	水	3 学年認知症サポート養成講座

PTA 交通指導・あいさつ運動

9 / 16（水）、30（水）… 3 年 4 組

10 / 7（水）、21（水）… 2 年 1 組

10 / 28（水）、11 / 4（水）… 2 年 2 組

10 月

1	木	3 学年習熟度テスト
6	火	三者懇談会（全学年）（～9 日）
9	金	前期終業式
13	火	秋季休業日（～14 日）
15	木	後期始業式
17	土	中体連市秋季大会（～18 日）
24	土	文化祭
29	木	2 学年がん教育

相談窓口

《SC（スクールカウンセラー）》

片山 範子 【月2～3回 月曜日の午前】

《SSW（スクールソーシャルワーカー）》

谷川 尚子 【月・火曜日】

※ SC や SSW との相談を希望される方は、教頭まで

《体罰・セクハラ教育相談》

信行智玄（教頭）

小林太一（生徒指導主事）

大石純子（養護教諭）